

福井県の“今”を伝える

今月の読者  
プレゼント

Next Echizen Wakasa Stage

# NEWS

# ふくい

福井県広報誌 2021 7



同じ姿の  
ボクを探して  
応募してね。  
はぴっ!

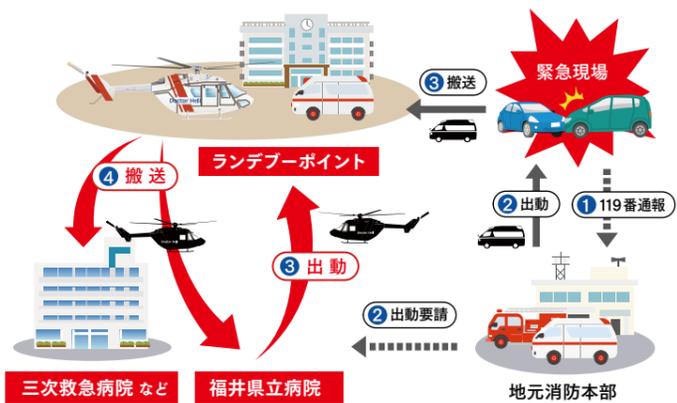


運航を開始した福井県ドクターヘリ

特集

いつでもどこでも安心の医療  
新型コロナウイルス感染症対策

ドクターヘリ出動要請から患者搬送までの流れ



ヘリは午前8時30分から日没まで365日運航。119番通報を受けた各消防本部は救急車で現場に駆けつけると同時に、必要に応じてヘリの出動を要請する。グラウンドや公園など341カ所のランデブーポイント（離着陸場所）でヘリと合流し、患者を医療機関に運ぶ。

県子ども急患センター

夜間・休日・祝日にお子さんの病気で困ったら  
ためらわずに受診を!!

夜間や休日、祝日に体調を崩した子どもを診療する「県子ども急患センター」。小児感染症流行期においても、混雑を緩和し利用者が安心して受診できるよう、待合室を広く取り明るい内装としています。電子カルテや待合表示システムを導入し、スムーズな診療につなげています。不安を感じたら、遠慮せず受診してください。

- 診療時間  
月～土 19時～23時  
日・祝 9時～23時  
年末年始 9時～23時

- 場所  
福井市城東4丁目14-30  
(福井市健康管理センター2階)  
TEL 0776-26-8800



〈受診の目安〉  
急な発熱、けいれん、せきがひどく呼吸が苦しそう、腹痛、嘔吐、耳を痛がるなど  
※頭を打った、やけど、骨折などの外科的症状の時は近くの救急病院を受診してください  
急な発熱などで受診を迷う場合は、#8000子ども救急医療電話相談をご利用ください(#8000または0776-25-9555)

知事メッセージ みなさんと一緒に

安心の医療体制を  
実現します

念願のドクターヘリがついに運航開始。搬送時間が短くなる、現場に着いた段階から治療を行えるなど大きな効果があります。また、治療にあたる医師の確保についても取り組みます。「いつでもどこでも」安心の医療体制づくりを進めていきます!



知事 杉本 達治

積みましました。「今回のヘリ運航は大きな一歩だが、これを適切に運用していくためには医療人材の育成も重要」と谷崎医長。少人数で重篤な患者の初期治療を行うドクターヘリは、スタッフの技術向上にも役立つことから、県内の救急医療体制のさらなる充実につながると言います。



「救急では『もう少し早ければ』と思うことも。ヘリ導入でこうした事例が1件でも少なくなれば」と谷崎医長

医療技術と医療人材が必要ですが、県内には医師の確保が難しい地域もあります。このため、県が直接医師を採用し地域の医療機関に派遣する「ドクタープール制度」を昨年度か

ら開始しました。昨年度はこの制度により3名を派遣。他にも自治医科大卒の医師や県の奨学生医師などを含め、計48人の医師を医師不足の地域へ派遣しました。今年度は61人、令和5年度には81人の派遣を目標としています。

また感染症医療の充実を図るため、県は今年4月、福井大学医学部に「感染症学講座（寄附講座）」を新設し、感染症専門医の

④地域医療課  
TEL 0776-20-0345  
FAX 0776-20-0642

⑤保健予防課(感染症専門医育成)  
TEL 0776-20-0349  
FAX 0776-20-0643

育成にも努めています。今後も、福井のくらしの安全・安心を守るため、様々な取り組みを展開していきます。



運航開始に向けた訓練の様子

県は「福井県長期ビジョン」において、急性期医療からリハビリ、在宅医療まで、症状に応じた医療サービスを県内どの地域においても安心して受けられる医療体制の整備を掲げています。そのひとつに、事故や血管系の疾病など緊急時の医療があり、対策の切り札として5月24日からドクターヘリの単独運航を開始しました。ドクターヘリは、事故や急病の連絡を受けた消防の要請で出動。医療機器や医薬品を装備したヘリコプターに救急医療の専門医と看護師が同乗し、救急現場で速やかな初期治療を行います。県立病院屋上のヘリポートから県の最西端の高浜町まで30分弱で到着することができます。

これまでは、岐阜県、滋賀県との共同運航により大野市和泉地区と嶺南に限りドクターヘリによる搬送が行われていましたが、消防や医療の現場では長年、県内全域での運航が望まれていました。ヘリに搭乗する「フライトドクター」を指揮する県立病院救命救急センターの谷崎眞輔医長は「単独運航により救われる命や後遺症が軽減される人が増える」と、大きな期待を寄せています。

現在、フライトドクターは9名いますが、実際に搭乗した経験を持つのは谷崎医長ともう1人のみ。他の医師は昨年、他県で実務研修を受け運航に備えてきました。3月からは県内全ての消防本部と共に、実際にヘリを使用して訓練を

地域差なく救命救急  
×  
県ドクターヘリ単独運航

※感染状況により、発行日時時点で内容が変更となっている場合があります。

## 感染防止対策徹底

### ●おはなしはマスク

食事中も含め、会話する時はマスクをつけましょう。外食する際のお店選びは「マスク会食推進店」のシールやのぼりを目印に



### ●他県との往来注意

最新の状況をホームページで確認ください。



### ●迷わずに医療機関へ

体調不良の場合は迷わず直ちにかかりつけ医、もしくは受診・相談センターへ  
☎0776-20-0795 FAX0776-20-0797

### ワクチン接種に関して

**福井県新型コロナウイルスワクチン接種相談センター**  
相談内容: 医学的知見が必要となる専門的なご相談  
☎0776-20-2210 FAX20-0797

**お住まいの市町のコールセンター、相談窓口**  
相談内容: 市町が郵送する接種券について など

**厚生労働省新型コロナウイルスワクチンコールセンター**  
相談内容: 国のコロナワクチン施策の在り方 など  
☎0120-761-770

ワクチン接種相談窓口    ワクチン接種WEB予約



ワクチンは希望する方全員が受けることができますので、ご安心ください

飲食店の  
皆さま

## 「ふくい安全・安心飲食店認証制度」をご活用ください!

新型コロナウイルス感染防止と経済活動の両立を目的に、飲食店における感染防止対策、マスク会食の実施状況を現地で確認し、認証する制度です。

- ・チェックシートを使って、店舗の感染防止対策などの状況を自分で確認し、申請
- ・調査員(委託業者)が店舗を訪問し、現地確認の上、認証
- ・認証後に、認証ステッカー・奨励金を交付

**受付期間: 令和3年6月30日(水)まで**

※申請状況により期間を変更することがあります

### <問い合わせ先>

ふくい安全・安心飲食店認証サポートセンター

☎0776-36-9123 受付時間10時~18時30分(土日・祝日除く)

メール: info@fukui-anshin-ninsyou.com



詳しくはこちら!



認証ステッカー

## 新型コロナの影響を受けた事業者を支援

### 中小企業等における感染拡大防止対策助成金

企業、個人事業主などが行う感染拡大予防ガイドラインに基づく対策にかかる経費を補助します。

受付期間:

第1回申請期間: 7月30日(金)まで  
第2回申請期間: 9月1日(水)~10月29日(金) 予定  
第3回申請期間: 12月1日(水)~1月31日(月) 予定  
※申請は年度を通して1回限り

補助上限額: 10万円/事業所    助成率: 4/5

☎福井県感染拡大防止対策助成金コールセンター  
☎0776-50-3753

★前年度に「中小企業等における感染拡大防止対策助成金」を受けた方でも申請できます。

### 宿泊事業者による感染防止対策等支援事業補助金

宿泊施設が実施する消毒液やアクリル板、サーモグラフィ購入などの感染対策や、非接触チェックインシステム導入などの前向きな投資にかかる経費を補助します。

受付期間:

令和3年6月28日(月)受付開始  
補助上限額: 800万円/施設(大規模施設の場合)  
助成率: 感染対策4/5    前向きな投資3/4

☎ふくいdeお得キャンペーン事務局  
☎0776-97-9527

### 福井県テレワーク利用促進補助金

企業が新たにテレワークを導入する際に必要となるパソコン、タブレット、スマートフォンの購入経費を補助します。

対象: 国の人材確保等支援助成金(テレワークコース)の支給決定を受ける中小企業

受付期間: 令和3年12月28日(火)まで  
補助上限額: ①20万円/事業所 ②5万円×対象労働者数  
※①②のいずれか低い方の額

助成率: 1/3

☎労働政策課 ☎0776-20-0389 FAX20-0648

令和3年6月補正予算案においても、県内事業者支援など、新型コロナウイルス感染症に関する対策経費を盛り込んでいます。

### 福井県版持続化給付金

令和2年の年間売上に給付金などを加えた額が令和元年の年間売上と比べ10パーセント以上減少した事業者を支援します。

受付期間: 令和3年7月16日(金)まで  
給付額: 1事業者あたり10万円

### 経営改善支援金

福井県版持続化給付金、小規模事業者等再起支援金または雇用維持事業主応援金を受給した事業者のうち、経済社会の変化に対応するため、経営改善などに前向きに取り組む事業者を支援します。

受付期間: 令和3年8月31日(火)まで  
給付額: 1事業者あたり10万円

☎福井県版持続化給付金・経営改善支援金  
コールセンター  
☎0776-50-6458  
(平日9時30分~16時30分)

### 福井県雇用維持緊急助成金

国の雇用調整助成金などに県独自の乗せ助成を行うことにより、企業の雇用維持を応援します。

対象: 国の雇用調整助成金などの支給決定を受けた中小企業事業所(国の補助率が9/10となる事業所に限る)

対象期間: 令和3年5月1日(土)~6月30日(水)  
補助上限額: 100万円/事業所  
助成率: 雇用調整助成金等支給決定額の1/10

☎労働政策課  
☎0776-20-0390 FAX20-0648



**恐竜博物館**

**令和3年度特別展 「海竜～恐竜時代の海の猛者たち～」**

7月16日(金)～10月31日(日)  
 “海竜”と呼ばれる、絶滅した海生爬虫類に注目し、その生態や進化の秘密に迫ります。  
 ●1300円(小学生600円、高校生800円、70歳以上500円)  
 ※常設展も観覧できます



●新勝山市村岡町寺尾51-11  
 ☎0779-88-0001 FAX88-8700  
 9時～17時(入館は16時30分まで)  
 7月22日(木・祝)～8月31日(火)は8時30分～18時(入館は17時30分まで)  
 ●7月14日  
 ★入館には事前予約が必要です

**陶芸館**

**福井県陶芸館開館50周年記念特別展 前期 ECHIZEN BRAND ー海をわたる褐色のやきものー**

8月29日(日)まで  
 越前焼が最も華ひらいた中世を中心に、消費地から見た越前焼の価値に迫っていきます。  
 ●600円(高校生以下・70歳以上300円、未就学児無料)



●越前町小曾原120-61  
 ☎0778-32-3262 FAX32-2240  
 9時～17時(入館は16時30分まで)  
 ●6月28日、7月5,12,19,26日

**総合グリーンセンター**

**緑の教室「植物標本の作り方と植物名の調べ方」**

7月17日(土)13時30分～15時30分  
 きれいな標本の作り方と植物の調べ方を学びます。  
 ●先着30名 ●7月1日(木)から

**親子で花の寄せ植えづくり**

8月9日(月・祝)、10日(火)10時～11時  
 親子で花の寄せ植えを楽しみます。  
 ●小中学生とその保護者  
 ●各回先着10組 ●500円/組  
 ●7月5日(月)から  
 ●坂井市丸岡町楽間15  
 ☎0776-67-0002 FAX67-0004  
 9時～16時30分  
 ●6月28日、7月5,12,19日

**芦原青年の家**

**第1回おもしろサイエンス「ポンポン船をつくろう」**

7月18日(日)10時～12時

JAXA監修のポンポン船を作ってロケットの推進力について学びます。  
 ●小学3年生～6年生(保護者同伴可)  
 ●10名(応募者多数の場合は抽選)  
 ●7月3日(土)までにメール、はがき、FAXで申し込み



●あわら市北潟153-227  
 ☎0776-79-1001 FAX79-1005  
 ●6月28日、7月5,12,19,20,21,26日

**若狭歴史博物館**

**わかはく講座 民俗学のおもしろさーあつめて・くらべて・わかることー**

7月18日(日)13時30分～15時

身近なことに注目する民俗学。具体的な事例を検討しながら、民俗学のおもしろさを紹介します。  
 ●先着25名  
 ●7月1日(木)～17日(土)

●小浜市遠敷2-104  
 ☎0770-56-0525 FAX56-4510  
 9時～17時(入館は16時30分まで)  
 ●常設展310円(高校生以下・70歳以上無料)  
 ●6月28日、7月12,26～29日



**園芸LABOの丘**

**巨木トマトの収穫体験**

7月10日(土)、11日(日)10時～11時、13時30分～14時30分

巨木トマトを収穫します。収穫したトマトは持ち帰ることができます。

●小学生とその保護者  
 ●各日、各回先着10組  
 ●300円/組  
 ●各開催日の1週間前までにFAXまたはメールで申し込み



●美浜町久々子35-32-1  
 ☎0770-47-6162 FAX47-6163  
 9時30分～17時  
 ●6月28日、7月5,12,19,26日



**自然保護センター**

**美しい植物標本を作ろう**

7月24日(土)10時～15時

自然保護センター周辺の森で、植物採集を楽しむとともに、美しい標本を作成します。  
 ●小学4年生以上(中学生以下は保護者同伴)  
 ●先着20名  
 ●電話、FAX、メールで申し込み



●大野市南六呂師169-11-2  
 ☎0779-67-1655 FAX67-1656  
 9時～17時(入館は16時30分まで)  
 ●6月28日、7月5,12,19日

**こども歴史文化館**

**特別展「小学校誕生～日本が世界につながった時代～」Part1**

7月21日(水)～

8月29日(日)  
 明治前半期のふくいの小学校の姿や、当時の「文明開化」をものがたる資料を紹介します。



●福井市城東1-18-21  
 ☎0776-21-1500 FAX21-1501  
 9時～17時(入館は16時30分まで)  
 ●6月28日、7月5,12,19,20日

**県立大学公開講座**

**Withコロナ・Afterコロナの地域産業・企業の方向性を考える**

7月6日(火)、13日(火) 19時～20時30分

県立大学では、無料オンライン講座を実施中。この講座ではWithコロナ・Afterコロナの福井の経済を考えます。6日の講師は地域経済研究所の南保勝特任教授。13日はKDDI(株)より講師をお招きして地方創生とデジタル技術について講義を行います。詳しくは「福井県立大学 公開講座」検索。  
 ●各開催日の前日まで



●県立大学  
 ☎0776-61-6000 FAX61-6011



**県民ワクワクチャレンジプラン コンテスト2021**

- ①女性部門 7月17日(土)10時～17時
- ②NPO部門 7月18日(日)10時～17時
- ③若者部門 7月31日(土)10時～17時

●①、②国際交流会館(福井市宝永)  
 ●③きらめきみなと館(敦賀市桜町)

県内在住の女性や若者、NPOから応募された、福井を活性化しようとする活動プランを審査するコンテストを開催します。

●県民活躍課  
 ☎0776-20-0237 FAX20-0632



**シニアの多世代間交流活動を応援します**

地域で伝統料理の継承やレクリエーション活動などを通じ子どもや地域住民と世代間交流を新たに行うシニアグループを応援します。

助成上限額:5万円  
 ●シニアが中心の5人以上のグループ(代表者が60歳以上、かつ3分の2以上が60歳以上)  
 ●随時受付(予算上限に達し次第終了)  
 ●長寿福祉課 ☎0776-20-0331 FAX20-0642

**「福井産 食べて当てよう!キャンペーン」**

食品スーパーや直売所で福井県産の農林水産物や加工品を購入し、県産表示ラベルなどを集めて応募すると、抽選で200名に福井県の特産品が当たるキャンペーンを実施します。  
 第1弾:7月1日(木)～8月31日(火) 100名  
 第2弾:10月1日(金)～11月30日(火) 100名  
 ●流通販売課 ☎0776-20-0417 FAX20-0649

**日本語ボランティア入門講座**

7月30日(金)、8月6日(金)、20日(金)、27日(金)、9月10日(金)、17日(金)、24日(金)、10月1日(金)(全8回)

13時30分～16時30分(10月1日のみ13時～17時)

外国の方に日本語を教えるための基礎を学びます。  
 ●国際交流嶺南センター(敦賀市神楽町)

●①県内在住で18歳以上の方  
 ●②受講修了後、県内の日本語ボランティア団体で活動できる方  
 ●③外国の方は、日本語能力試験N1(旧1級)に合格していること

●先着30名  
 ●3500円  
 ●8月5日(木)まで随時(定員に達し次第終了)

●国際交流嶺南センター ☎0770-21-3455 FAX21-3441



地域の情報をピックアップ!

# まちのタネ

7月7日(水)オープン!

高浜町

魚と旅するマーケット「UMIKARA(うみから)」がオープン!

令和3年7月7日(水)、魚に特化した商業施設「UMIKARA」がオープンします。  
 漁港と隣接した立地条件を活かし、毎日、水揚げされたばかりの新鮮な魚介をお客様に提供します。魚介を使った惣菜、加工品なども取り扱い、毎日のお買い物から旅行のお土産選びまで、幅広いニーズにお応えします。  
 オーシャンビューで新鮮な魚料理を味わえる食堂、漁師から直接魚が買える屋市やセリ体験イベントなど、見所いっぱいです。UMIKARA周辺には海釣り公園や漁村文化伝承館など、海をいろいろな角度から楽しめる場所も。ぜひお越しください。

住所: 大飯郡高浜町塩土5号1番地  
 営業時間: マーケット 9:00～20:00  
 食堂 昼10:00～16:30  
 夜17:30～22:00(金・土・祝前日のみ)  
 TEL: 0770-72-3528

詳しくはこちらから

※各施設では、混雑時に入館制限など必要な感染予防対策を行ったうえで開館しています。各施設を利用の際は、マスクの着用やアルコールによる手指消毒など、新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。※掲載している内容は変更や中止になる可能性があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。



ハピネス  
クッキング

# ふくいの恵みをいただく



じっくり時間をかけて育てています

通常、らっきょうは植え付けから約1年で収穫されます。坂井市から福井市にまたがる三里浜砂丘地で採れるらっきょうは、全国でも唯一植え付けから収穫まで「足かけ三年」かけて栽培され、「三年子(さんねんご)」と呼ばれています。らっきょうは年月が経つにつれ粒が小さくなるため、「三年子」は小粒で繊維が細かく身がしまり、歯切れのよい食感が特徴です。



## おすすめレシピ

### 三年子らっきょうのいなり寿司

#### 材料

4人分・調理時間約40分

- らっきょうの甘酢漬け
- らっきょう 160g
- らっきょうの漬け汁100~120g  
に分けて使用します。
- 米 2合(約20個分)
- 塩 少々
- 黒ごま 適量
- いなり揚げ(正方形) 10枚
- だし汁(かつおと昆布) 250ml
- ★砂糖 50g
- ★こいくちしょうゆ 大さじ3

#### 作り方

- らっきょうの甘酢漬けをらっきょうと漬け汁に分け、らっきょうのみじん切りにする。
  - 炊き上がったご飯を飯台に移し、らっきょうの漬け汁と塩をかけてよく混ぜ、すし飯を作る。
  - らっきょうのみじん切りをすし飯に混ぜる。
  - ③に黒ごまを加えて軽く混ぜる。
  - いなり揚げは、油抜きにして二つに切り、★を加えだし汁で煮る。
  - 煮上がった⑤に④を詰めて出来上がり!
- 米は固めに炊き上げるのがポイント  
●お好みで、らっきょうと黒ごまをいなり寿司の上にトッピングしてもOK



## 読者プレゼント



### 三年子花らっきょうほのぼのセット

三年子花らっきょう(80g×3袋)、ピリカリらっきょう(100g×2袋)  
らっきょう屋カレー(200g×5袋)、らっきょうドレッシング(1本)

アンケートにお答えいただいた方の中から  
抽選で**7名様**にプレゼントします。

#### アンケート

Q1 NEWSふくいをお読みになったご感想を教えてください。

- (1)内容について  
1.大変良い 2.良い 3.普通  
4.あまり良くない 5.良くない

(2)良かった記事(複数回答可)

- 1.表紙 2.特集①  
3.特集② 4.ふくいインフォ  
5.まちのタネ 6.ハピネスクッキング

Q2 NEWSふくいの入手方法を教えてください。

- 1.新聞折り込み 2.コンビニ・スーパー  
3.インターネット 4.その他(自由記述)

Q3 NEWSふくいで今後取り上げてほしい県政のテーマを教えてください。(自由記述)

Q4 NEWSふくいへのご意見をお願いします。(自由記述)

Q5 表紙と同じ右の「はびりゅう」は何ページにいますか?



応募  
してね!



応募締切 令和3年 7月24日(土)

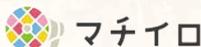
応募方法 アンケートの回答と住所・氏名・年齢・性別・電話番号を必ず記入の上、郵便はがきまたは県のホームページでご応募ください。(お一人1通まで)

※賞品の発送をもって当選発表に代えさせていただきます。賞品は8月中に発送する予定です。

応募先 〒910-8580 (住所は記載不要)  
県広報広聴課 NEWSふくい  
ホームページでの応募はこちらから



「NEWSふくい」をスマートフォンにお届け



県政のトピックスをお届け  
フェイスブック「ほやほや福井」



友だち登録をお願いします!

福井県公式LINE

※LINEアプリを起動し、QRコードを読み取ってください



デジタルブック  
で配信中!



「NEWSふくい」はデジタルブックでも配信しています。スマートフォンやタブレットで「Catalog Pocket(カタポケ)」のアプリまたはブラウザ版をご利用ください。(多言語対応、音声読み上げ機能あり)

